

ライフラインにおいても施設の被害や機能障害が発生した。上水道は地震直後に3市5町において総数13,290戸で断水が発生した。

輪島市と穴水町では、総合病院が断水し、応急給水時の連絡不足もあり、人工透析患者を他市町に移送するという事態も発生した。しかし、約10日後には断水は解消した。

下水道はマンホールの浮上や管路の蛇行が生じたが、仮設ポンプの設置などにより流下能力を確保したので、大きな機能障害は生じなかった。ガスについては、被害の中心地ではガスボンベを使用していたので障害は生じなかったが、金沢市を含む周辺のガス供給エリアにおいてマイコンメーター（ガスメーターでガスを遮断する装置）が作動し、その回復に関する問い合わせの電話が殺到し、混乱した。電力については、地震直後に石川県で約11万戸、富山県で約5万戸が一時停電したが、当日の夕方までにはすべて解消した。電話の施設被害による不通箇所は生じなかったが、固定電話、携帯電話ともに地震直後から輻輳のためにかかりにくい状態が続いた。

参考文献

- 1) http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/shindo_db/shindo_index.html（気象庁）
- 2) <http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/Jhome.html>（東大地震研）
- 3) http://www.jishin.go.jp/main/chousa/07apr_noto/p03.htm
（地震調査委員会資料：気象庁）
- 4) <http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/gaikyo/monthly200703/200703index.html>
（気象庁）